

授業科目 精神障害作業療法評価学

【担当教員名】 岡村 太郎	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

精神障害に対する作業療法の評価を実施するために、必要となる基礎的な知識を身につける。

<行動目標：S B O>

1. 評価の概要について説明できる
2. 評価と経過について説明できる
3. 対象者の経過に評価の整合性について述べることができる
4. 評価の方法について列挙できる
5. 作業療法計画について書式にまとめレポートとして提出できる

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	評価の概要		以下すべて、講義 担当教員岡村
	評価の特性・目的・対象項目	1	
2	作業療法のアプローチと評価の関係	1	
	評価と経過	2	
3	評価の時期と適応	2	
4	評価と回復状態からみた作業療法の役割・目的	2	
	評価の経過と整合性	3	
5	評価の必要性とその内容	3	
	身体構造と機能・活動・参加の評価	3	
	検査結果の解釈と検討	3	
	適応課題の選出	3	
6	ゴールの整合性（焦点化）	3	
	適応課題と作業の適応	3	
	評価・経過の記録	3	
	フォローアップの実施計画立案	3	
7	評価の方法	4	
	情報：他部門からの情報収集	4	
8	面接：構造、形態、種類と目的	4	
9	観察：構造、形態、種類と目的	4	
10	作業面接：構成的作業面接・投影的作業面接	4	
11	検査・測定：種類と内容	4	
12	調査：種類と内容	4	
13	作業療法計画	5	
14	療法計画の立案、経過記録、再評価	5	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	精神障害と作業療法	山根寛	三輪書店	2000
	作業療法実践の仕組み	矢谷令子・福田恵美子	協同医書出版	2001
参考書	I C F 国際生活機能分類		中央法規	2002
	心理査定ブックティス	岡堂哲雄：編	至文堂	1998
その他の資料	諸検査チャート（B P R S等）配布			

【評価方法】 期末テスト・出席・レポートにより評価	【履修上の留意点】
------------------------------	-----------